

授業科目	臨床心理学(カウンセリング含む)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH31303J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP3-2			
担当教員	命婦 恭子							
授業概要	対人援助職に必要な臨床心理学の理論と技法について理解することを授業の目標とする。心理アセスメントについての理解を深めるために、自分自身の内的な世界に向かい合い、主観的・客観的に考察できるように授業を展開していく。保育現場で、子どもと向き合ったときに、保育者として知っておきたい技法を実践的に学べるように教授する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理臨床の基本的な理論について理解し、記述することができる。</li> <li>2. 基礎的な心理アセスメントの方法について説明できる。</li> <li>3. 言語的・非言語的心理臨床の方法を説明できる。</li> <li>4. 自己理解を深めた体験について説明し、記述できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	10	50	0	30	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)		10	30		15	0	55	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			20		15	10	45	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床心理学の理論のうち、精神分析、行動療法、パーソン・センター・アプローチの3つを区別して説明することができる。</li> <li>2. 心理アセスメントの結果を客観的に考察し、その結果を日常生活の場面と結び付けて理解することができる。</li> <li>3. 心理臨床のいくつかの技法について、その特徴を理解しロールプレイで実践することができる。</li> </ol>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床心理学に複数の理論があることを理解し説明できる。</li> <li>2. 心理アセスメントの結果に向き合い、考察しようと努力することができる。</li> <li>3. 心理臨床の複数の技法のロールプレイに参加することができる。</li> </ol>				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	臨床心理学の概要・講義の進め方について 臨床心理学の概要とピア・ヘルパー資格について解説する。	講義	講義の内容を復習する。	30
2	基礎理論 1 フロイトの精神分析理論の基礎的な内容について解説する。	小テスト	小テストのに向けての復習	20
3	基礎理論 2 学習理論の基礎と行動療法について解説する。	小テスト	小テストのに向けての復習	20
4	基礎理論 3 ロジャースのパーソン・センター・アプローチについて解説する。	小テスト	小テストに向けての復習	20
5	心理アセスメントの技法 1 パーソナリティ理論と様々なアセスメント技法について解説する	講義	講義内容を復習する	20
6	心理アセスメントの技法 2 チェックリスト法によりパーソナリティの測定を実施する。	講義	受講生同士で体験をシェアリングする	10
7	心理アセスメントの技法 3 投映法について解説し、文章完成法を実施する。	講義	受講生同士で体験をシェアリングする	10
8	心理アセスメントの技法 4 描画法について解説し、描画テストを実施する。	講義	受講生同士で体験をシェアリングする	10
9	心理アセスメントのまとめ方 心理検査の結果から、個人の心理的特徴を考察し、報告書としてまとめる。	講義	自分のアセスメント結果をまとめる	180
10	心理臨床の技法 1 面接の環境設定などを印象形成の理論に沿って解説する。	講義	受講者同士で体験をシェアリングする	10
11	心理臨床の技法 2 コラージュ療法についての解説を行い、実践する	講義 演習 (GW)	受講生同士で体験をシェアリングする	10
12	臨床心理学の技法 3 プレイ・セラピーについての解説を行い、グループでのワークを行う。	講義 演習 (GW)	受講生同士で体験をシェアリングする	10
13	臨床心理学の技法 4 臨床動作法についての解説を行い、ペアでのワークを行う。	講義 演習 (GW)	受講生同士で体験をシェアリングする	10
14	心理臨床の技法 5 グループ・エンカウンターについての解説を行い、グループでのワークを行う。	講義 演習 (GW)	受講生同士で体験をシェアリングする	10
15	授業のまとめ これまでの授業内容を振り返り、自分の体験と照らし合わせながらまとめを行う。	講義	レポートの作成	180
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「心理学」「保育の心理学 1・2」などの授業で心理学の知識を深めておくことが望ましい。			
テキスト	日本教育カウンセラー協会 『ピアヘルパーハンドブック』 図書文化 日本教育カウンセラー協会 『ピアヘルパーワークブック』 図書文化			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	岩壁茂ら 2013 臨床心理学入門 有斐閣アルマ 東豊 1997 セラピストの技法 日本評論社 佐治守夫 飯長喜一郎 2011 ロジャーズクライアント中心療法 有斐閣 ポール・スタラード 2006 認知行動療法ワークブック 金剛出版 チャールズ・E・シェーファー 2011 プレイセラピー14の基本アプローチ 創元社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参考図書のうち、興味のあるものに目を通して、関連する本を読んでください。</li> <li>・ 講義の中での体験を受講生どうして話し合うことで、自分の体験を表現するスキルと他者の体験を理解するスキルの両方を磨いてください。</li> <li>・ ピア・ヘルパー資格の取得を目指す学生は必修科目となります。</li> <li>・ 日常生活で、できるだけ他者とふれあい、小説や映画などからも他者の心理についての理解を深めるようにしてください。</li> </ul>			
達成度評価に関するコメント	知識を身に着けることも必要ですが、その知識を用いて自分自身や自分の体験を考察し、表現することが望まれます。講義で提示する課題を体験し、それを表現するということを重視します。レポートなどの提出物だけでなく、授業への積極的な参加態度をその他(10%)として評価します。			